

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年12月3日（月）

2 確認箇所

- ・既設多核種除去設備
- ・地下貯水槽No. 4 付近

3 確認項目

- (1) 既設多核種除去設備（A）付近からの水の滴下事象の対応状況
- (2) 地下貯水槽No. 4 付近の観測孔等の状況

4 確認結果の概要

- (1) 既設多核種除去設備（A）付近からの水の滴下事象の対応状況

昨日（12月2日）、既設多核種除去設備（A）付近から系統水が1滴/20秒程度滴下していることを協力企業作業員が発見した事象について、現場の対応状況を確認した。

なお、昨日のうちに弁グランドの増し締めにより、滴下は停止した。

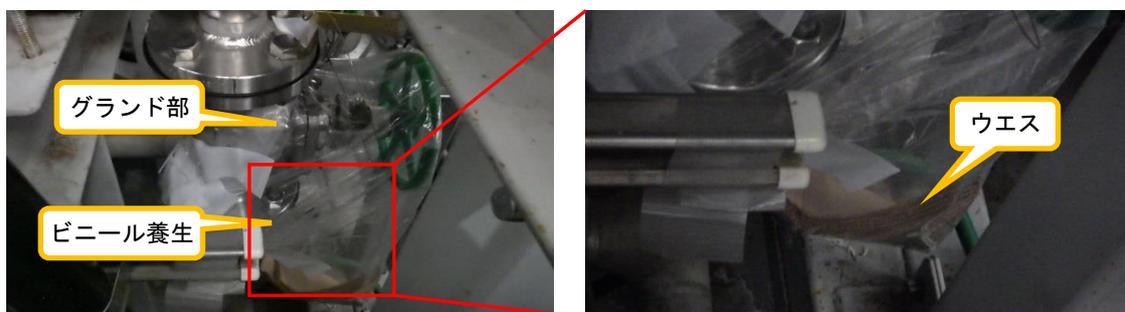
- ・滴下発生箇所は、前処理設備であるクロスフローフィルタ（以下「CFF」という。）と吸着塔入口バッファタンク（CFFで処理した水を一時貯留するためのタンク）の間にある絞り弁のグランド部であった。

（写真1）

- ・当該弁まわりは、漏えい拡大防止対策としてビニール養生されていた。ビニール袋内のウエスは乾いており、新たな滴下は認められなかった。

（写真1、2）

- ・なお、同設備のB系及びC系の類似弁についても確認したが、滴下している様子は認められなかった。（写真3）



（写真1）

（写真2）



(写真 3 - 1)
B系の絞り弁の状況



(写真 3 - 2)
C系の絞り弁の状況

(2) 地下貯水槽 No. 4 付近の観測孔等の状況

前回 (11月27日) に引き続き、今回は地下貯水槽 No. 4 付近に設置されている観測孔、漏えい検知孔、ドレン孔の状況を確認した。

・目視した限り、いずれも漏えい等の異常は認められなかった。(写真4)



(写真 4 - 1)
地下貯水槽No. 4 の状況



(写真 4 - 2)
観測孔



(写真 4 - 3)
漏えい検知孔



(写真 4 - 4)
ドレン孔

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。